

尾張旭市議選 まであと1ヶ月 日本共産党の2議席絶対確保を！



川村 つよし



さかきばら 利宏

- ★ 1969年、尾張旭に生まれる
- ★ 長久手高校、愛知工業大学電子工学科卒
- ★ 機械メーカー6年勤務、アメリカ駐在員も経験
- ★ 尾張旭市議会議員 3期 12年
- ★ 庄南町に妻と女兒の3人暮らし

- ★ 1958年、幸田町に生まれる
- ★ 愛知県立大学文学部中退
- ★ 学生時代、相次ぐ学費値上げに憤り、自治会活動に。
- ★ 2003年名古屋市議選(守山区)に出馬。以降名古屋市議団事務局
- ★ 東本地ヶ原町に妻と1女2男

4月17日告示24日投票で、尾張旭市議会議員選挙が行われます。
日本共産党は、川村つよし（現職）、さかきばら利宏（新人）の2議席絶対確保に全力を挙げてたたかいます。
4期16年がんばってきた塚本みゆきの後任決定がたいへん遅れ、新人の周知も大きく出遅れています。力を集中し、2議席の絶対確保をめざします。
地域分担は、裏面をご覧ください。



尾張旭市議会での2議席の意味

議員定数の12分の1の議席を持つことは、大きな意味を持ちます。尾張旭市では、定数24（改選後は21）のところ、日本共産党尾張旭市議団が2議席。

ちょうど、12分の1の議席です。これにより、議案提案権を持ちます。

この4年間で、市営バス（あさび一号）の日曜・祝日運行を可能にする修正案、母子家庭にしか支給されなかった児童扶養手当を父子家庭にも市独自で支給できるようにする議案提案（これは市の切り崩しにあい日の目を見ませんでした。）。3月23日に終了した3月定例会でも、来年度予算に対する修正動議を行い、来年度廃止される「私立高等学校授業料補助制度」の復活を求めるなどの取組みができました。

こうした日本共産党市議団の取組みは、議会の活性化を促し、他党派も議案の修正提案に取組みつつあります。

日本共産党は、お手本を見せ、議会改革の先陣を切ってきたと言えます。



議員報酬の2割削減提案 賛成少数により否決

3月議会には、議員報酬の2割削減を求める修正案が、花井議員、山下議員により提案されました。

結果は賛成少数により否決されました。（党市議団も反対しました。）

尾張旭市議会では「議会のあり方検討会」を立ち上げ、様々な議論をしてきました。選挙時の公営ポスターや燃料代の見直しも、同検討会での成果です。

その検討会では、テーマを議員が出し合い、議論の優先順位を決めて話し合ってきたのですが、その中には議員報酬の引き下げはありません。なぜ急遽、選挙間際になって突然言い出したのか、2議員のパフォーマンス的なものを感じます。

日本共産党は議員報酬について、落ち着いた議論を行う必要があると考えます。議会終了後、川村議員は正副議長に対し、選挙後の「あり方検討会」において、議員報酬の削減についてもテーマとして入れるように口頭で申し入れ、了解を得ました